

美術科における鑑賞学習についての全国調査

2015年度

日本美術教育学会

調査の目的

本調査は、中学校において、学習指導要領に示される美術科の内容である鑑賞領域の学習指導がどのように実践されているのか、その実態を全国規模で調査し、2003年度と同調査結果との比較を行いながら、現在の美術科における鑑賞学習の課題を明らかにするとともに、その望ましいあり方の提案に結びつけることを目的としています。

調査対象

中学校の美術科の授業を担当している教員約3800人（『全国学校総覧2014』より学校を抽出）

調査期間

2015年5月～2015年6月

調査内容

- I 調査対象者について
- II 美術科の学習指導について
- III 美術科の鑑賞領域の学習指導について
- IV 美術科教育等についての自由記述

調査方法

選択回答方式アンケート調査

回答方法と回答期日

回答用紙（別紙）に記入して、2015年6月15日（月）を目処に、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返信ください。

結果集計・分析

無記名での回答ですので、個人や学校名が特定されることはありません。また結果はすべて統計的に処理しますので、生徒はもちろんのこと、回答者に不利益が及ぶことは一切ありません。

結果報告

2015年度末に調査報告書としてまとめ、関係機関・組織・団体に配布するとともに、本学会誌『美術教育』誌上・本学会HP・本学会学術研究大会、ならびに一般報道機関を通じて公表します。

問い合わせ及び回答用紙返送先

松岡宏明（研究代表者：関西国際大学教育学部）

〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江1-3-23

TEL/FAX 06-6496-4160（直通）

研究チーム

赤木里香子（岡山大学）、泉谷淑夫（岡山大学）、大嶋彰（滋賀大学）、大橋功（岡山大学）、萱のり子（東京学芸大学）、新関伸也（滋賀大学）、藤田雅也（名古屋経済大学短期大学部）、松岡宏明（関西国際大学）

I 調査対象者について

以下の各質問について、選択肢の番号でお答えください。(一部直接回答あり)

1：あなたが勤務する都道府県

- ①北海道 ②青森 ③秋田 ④岩手 ⑤山形 ⑥宮城 ⑦福島 ⑧茨城 ⑨栃木 ⑩埼玉
⑪千葉 ⑫東京 ⑬群馬 ⑭山梨 ⑮神奈川 ⑯長野 ⑰新潟 ⑱静岡 ⑲愛知 ⑳岐阜
㉑福井 ㉒富山 ㉓石川 ㉔三重 ㉕滋賀 ㉖京都 ㉗大阪 ㉘奈良 ㉙和歌山 ㉚兵庫
㉛岡山 ㉜広島 ㉝鳥取 ㉞島根 ㉟山口 ㊱徳島 ㊲香川 ㊳愛媛 ㊴高知 ㊵福岡
㊶佐賀 ㊷長崎 ㊸宮崎 ㊹熊本 ㊺大分 ㊻鹿児島 ㊼沖縄

2：あなたの性別

- ①女性 ②男性

3：あなたの年齢

- ①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代

4：あなたの勤務年数（講師期間も含む）

- ①5年未満 ②5年以上10年未満 ③10年以上20年未満 ④20年以上30年未満
⑤30年以上

5：あなたの勤務の形態

- ①教諭 ②講師（常勤） ③講師（非常勤）

6：あなたの取得免許状・資格(複数回答可)

- ①小学校教諭 ②中学校教諭（美術） ③中学校教諭（美術以外） ④高等学校教諭（美術）
⑤高等学校教諭（工芸） ⑥特別支援学校教諭 ⑦その他（回答用紙に直接ご記入ください）

7：あなたの美術との関わり方についてお答えください。(複数回答可)

- ①専門的作品制作 ②趣味的作品制作 ③マンガやイラストを描く ④美術や美術史の研究
⑤画集・作品集の鑑賞 ⑥美術館や美術展等での作品鑑賞 ⑦美術番組やDVDなどの視聴
⑧美術（図画工作）科教育の研究 ⑨その他（回答用紙に直接ご記入ください）

8：あなたは、美術館や博物館、画廊、ギャラリーなどで作品を鑑賞する機会をどのくらいの頻度でもっていますか。

- ①年に3回以上 ②年に2回程度 ③年に1回程度 ④2年に1回程度 ⑤3年に1回以下

Ⅱ 美術科の学習指導について

以下の各質問について、選択肢の番号でお答えください。（一部直接回答あり）

1：あなたが、美術科（表現領域を含む全般）の授業実践を考える上で参考になっているものをお答えください。（複数回答可）

- ①教科書 ②指導書 ③他の教員の実践 ④公的な研修会・研究会 ⑤任意の研修会・研究会
 ⑥学会 ⑦図書・出版物 ⑧教員免許状更新講習 ⑨Web ⑩SNS
 ⑪その他（回答用紙に直接ご記入ください）

2：あなたの美術科指導（表現領域を含む全般）について、以下の項目は十分ですか。その度合いをお答えください。

（4 十分である 3 ほぼ十分である 2 やや不十分である 1 不十分である）

（1）美術の創造活動の喜びを味わう	4	3	2	1
（2）美術を愛好する心情を育てる	4	3	2	1
（3）感性を豊かにする	4	3	2	1
（4）美術の基礎的な能力を伸ばす	4	3	2	1
（5）美術文化についての理解を深める	4	3	2	1
（6）豊かな情操を養う	4	3	2	1
（7）表現と鑑賞の関連づけ	4	3	2	1

3：あなたの美術科指導（表現領域を含む全般）について、以下の項目をどのくらい重視しますか。その度合いをお答えください。

（4 重視する 3 どちらかといえば重視する 2 どちらかといえば重視しない 1 重視しない）

（1）表したい主題を生み出す	4	3	2	1
（2）発想・構想をふくらませる	4	3	2	1
（3）表現方法を工夫する	4	3	2	1
（4）イメージしたことを言葉に表す	4	3	2	1
（5）表現の意図や特徴を読み取る	4	3	2	1
（6）美術作品を味わう	4	3	2	1
（7）形・色・構成などの特徴	4	3	2	1
（8）材料の特性	4	3	2	1
（9）場所や環境の特徴	4	3	2	1
（10）用具の使い方	4	3	2	1

Ⅲ 美術科の鑑賞領域の学習指導について

以下の各質問について、選択肢の番号でお答えください。(一部直接回答あり)

1：あなたが、鑑賞学習の授業実践を考える上で参考にしているものをお答えください。(複数回答可)

- ①教科書 ②指導書 ③他の教員の実践 ④公的な研修会・研究会 ⑤任意の研修会・研究会
⑥学会 ⑦美術館等での研修会 ⑧図書・出版物 ⑨教員免許状更新講習 ⑩Web ⑪SNS
⑫その他(回答用紙に直接ご記入ください)

2：生徒に美術作品を提示する際に使うものを以下から選択してください。(複数選択可)

- ①実物 ②複製画やレプリカ ③教科書 ④副読本 ⑤自作の図版資料
⑥市販の図版資料(紙媒体や電子媒体) ⑦研修会等で入手した作品の図版資料
⑧作品の画像や動画(TV番組やサイト) ⑨その他(回答用紙に直接ご記入ください)

3：生徒に図版を提示する方法として使うものを以下から選択してください。(複数選択可)

- ①黒板や掲示版への掲示 ②印刷物での配布 ③プロジェクタ ④大型ディスプレイ
⑤電子黒板 ⑥携帯端末など ⑦その他(回答用紙に直接ご記入ください)

4：鑑賞学習指導において、以下の項目をどのくらい重視しますか。その度合いをお答えください。

(4 たいへん重視する 3 ある程度重視する 2 あまり重視しない 1 重視しない)

(1) 主体的な見方や感じ方	4	3	2	1
(2) 他者の多様な見方や感じ方	4	3	2	1
(3) 作品に込められた思いや意図	4	3	2	1
(4) 作品の中の色や形の効果	4	3	2	1
(5) 作品の構図や配置の効果	4	3	2	1
(6) 作品に関する知識	4	3	2	1
(7) 作品における素材や材料の活かし方	4	3	2	1
(8) 作品の歴史的・文化的背景や位置づけ	4	3	2	1
(9) 美術と社会・環境とのつながり	4	3	2	1
(10) 生活の中での美術の働き	4	3	2	1

5：年間の美術科授業のうち、およそ何時間を「独立した鑑賞学習」に充てましたか。2014年度実績でお答えください。

回答用紙に直接、数字でお答えください

第1学年45時間中およそ [] 時間
第2学年35時間中およそ [] 時間
第3学年35時間中およそ [] 時間

6：表現領域の題材で「鑑賞の能力」についての評定をつけていますか？

①常につけている ②ほぼつけている ③時々つけている ④つけていない

7：鑑賞学習において、以下を評価の際にどのくらい用いていますか？

(4 よく用いる 3 ある程度用いる 2 あまり用いない 1 用いない)

(1) ワークシートや鑑賞カード	4	3	2	1
(2) レポートや感想文	4	3	2	1
(3) 観察(生徒の活動の様子)	4	3	2	1
(4) チェックシートや評価カード(教師記入)	4	3	2	1
(5) 個人の発表や発言	4	3	2	1
(6) グループによる発表	4	3	2	1
(7) ポートフォリオ評価	4	3	2	1
(8) ルーブリック評価	4	3	2	1
(9) 生徒による相互評価	4	3	2	1
(10) ペーパーテスト	4	3	2	1

8：あなたの鑑賞学習指導について、あてはまるものを一つ選んでください。

①積極的である ②ある程度積極的である ③やや消極的である ④消極的である

9：8の回答に関わらず、鑑賞学習指導に関する以下の項目について、あなたはどのくらいあてはまりますか？

(4 よくあてはまる 3 ある程度あてはまる 2 あまりあてはまらない 1 あてはまらない)

(1) 美術や美術史についてよく知らない	4	3	2	1
(2) 知識(意味・内容・方法)が乏しい	4	3	2	1
(3) 目標設定に困難を感じる	4	3	2	1
(4) 何を鑑賞させればよいか分からない	4	3	2	1
(5) 評価基準の設定に困難を感じる	4	3	2	1
(6) 実際に評定をつけることに困難を感じる	4	3	2	1
(7) 自らの鑑賞学習の経験がないのでイメージがわからない	4	3	2	1
(8) 必要性を感じない	4	3	2	1
(9) 生徒が興味や関心を示さない	4	3	2	1
(10) 授業時数が少なくて鑑賞に充てる時間がとれない	4	3	2	1
(11) 表現(制作)に取り組ませることで目一杯である	4	3	2	1
(12) 教材研究をする時間がとれない	4	3	2	1
(13) 提示する資料が乏しい	4	3	2	1
(14) 資料の収集方法がわからない	4	3	2	1
(15) 提示のための機器や施設が乏しい	4	3	2	1
(16) 近くに美術館等がない	4	3	2	1
(17) その他の困難があればご記入ください	回答用紙に直接ご記入ください			

10：あなた自身の鑑賞学習指導を充実させる上で、何が必要ですか。以下の項目について、その度合いをお答えください。

(4 とても必要である 3 ある程度必要である 2 あまり必要ではない 1 必要ではない)

(1) 資料の収集	4	3	2	1
(2) 指導の展開に関する研究や研修を深める	4	3	2	1
(3) 目標や評価基準の設定に関する研究や研修を深める	4	3	2	1
(4) 評価の仕方に関する研究や研修を深める	4	3	2	1
(5) 美術についての研究や研修を深める	4	3	2	1
(6) 美術文化に対する教養を高める	4	3	2	1
(7) 教材研究をする時間の捻出	4	3	2	1
(8) その他必要なことがあればご記入ください。	回答用紙に直接ご記入ください			

11：これからの美術科教育において、鑑賞学習指導を充実させるために、何が必要だと考えますか。以下の項目について、その度合いをお答えください。

(4 とても必要である 3 ある程度必要である 2 あまり必要ではない 1 必要ではない)

(1) 鑑賞学習に関する研究や研修の機会の充実	4	3	2	1
(2) 美術についての研究や研修の機会の充実	4	3	2	1
(3) 美術文化に対する教養を高める機会の充実	4	3	2	1
(4) 教員養成課程での鑑賞に関するカリキュラムの充実	4	3	2	1
(5) 美術に関する資料の充実	4	3	2	1
(6) 鑑賞学習に関する実践例などの資料の充実	4	3	2	1
(7) 鑑賞学習に関する目標や評価の指標	4	3	2	1
(8) 十分な授業時数の確保	4	3	2	1
(9) 学校における提示機器や施設の充実	4	3	2	1
(10) 地域社会における美術文化施設の充実	4	3	2	1
(11) その他必要なことがあればご記入ください。	回答用紙に直接ご記入ください			

IV 美術科教育等についての自由記述

美術科教育、鑑賞学習指導等についてのご意見などを自由にご記入ください。

回答用紙に直接ご記入ください。

質問は以上です。ご協力、誠にありがとうございました。